



後援会報

2015年7月 発行24号
事務局 高澤 裕司
不二越工業高校内
TEL (076) 425-8304

会員の皆様へ

不二越工業高等学校 校長 西島 克巳

後援会の各位様には平素から本校野球部の活動並びに本校の運営にご支援、御配慮を賜り、深く感謝致します。今シーズンは県内各校ともぞば抜けた強豪チームが無く、本校にも大いに優勝の可能性があると思っております。春の大会ではシード校である砺波工業高校と雨の中で対戦しましたが、2-3で惜敗しました。しかしながら最後まで緊迫感のある良い試合だったと思います。

さてこれから本番の夏の大会に向かいます。1回戦の対戦相手は伏木高校。それに勝てば、富山中部、高岡商業、富山商業と強豪そろいのブロックにはいりましたが、生徒達は一生懸命やりきってくれるものと信じております。この原稿が皆様に届くころにはもう結果が出ていると思いますが、とにかく高校野球を通して学校全体が盛り上がる事を期待しております。

さて、本年の新入生は学校全体としても116名と極めて少なく、厳しい部の代表とされる野球部入部者は、10名と昨年より(8名)は増えましたが、決して良い状態ではなく、今後どうしていくかが、学校としての課題であると思っております。このような状況ですが選手諸君は明日の甲子園を夢見て、毎日頑張っています。

昨年の秋から采配している鈴木新伍先生を中心としてこれから新しい不二越のチームを作ってくれるものと期待しております。富山県の高校野球が不毛の地でなく、北信越が日本の高校野球のメッカになりつつある中で、選手諸君が不二越高校で野球をやったことを誇りに、人生を歩んでくれることを願っております。

関係各位のご健勝お祈りするとともに、今までにもましてのご支援をお願いする次第で御座います。

会員の皆様方へ

野球部監督 鈴木 新伍

後援会の皆様には、日頃から本校野球部に対し、多大なご支援、ご声援をいただき誠にありがとうございます。

新年度に入り、新入生10名を加え総勢33名となりました。ここ数年にはない少人数ではあるものの、全員団結して日々の練習に励んでおります。

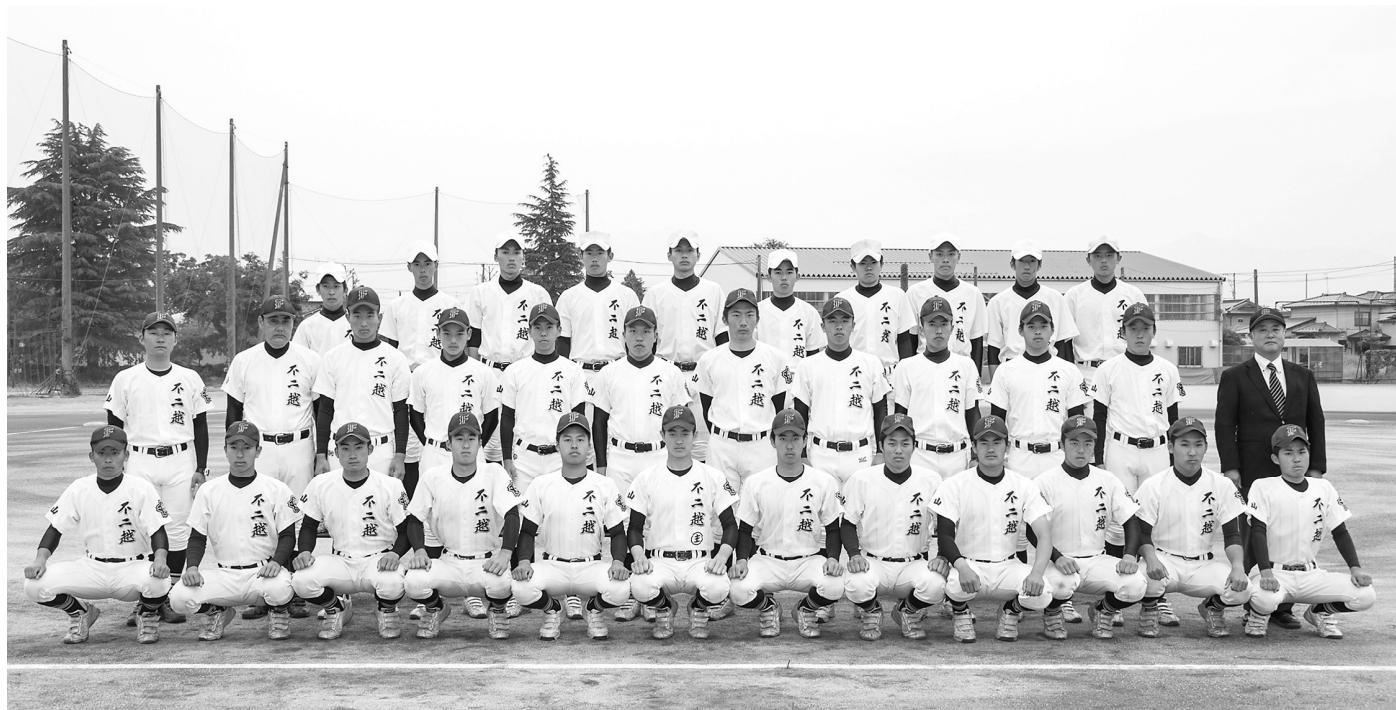
顧みますと、昨秋は2回戦でシード校の高朋高校に7対0でコールド勝利をしたものの、3回戦では、準優勝した富山工業高校に0対1の惜敗、今春は2回戦でシード校の砺波工業高校に2対3で惜敗と、ともに接戦を落とすという不本意な結果に終わりました。

今夏は、7月2日(木)の選手権抽選会を皮切りに、9日(木)富山市民球場での開会式、11日(土)から25日(土)の決勝戦まで甲子園をかけた県大会が始まります。大会まで1か月を切り、選手達にはこれまで以上の士気の高揚が見られます。昨年の忘れ物である、2度目の『甲子園への切符』を掴むべく、熱を帯びた練習を行うとともに、練習試合により実践のための最終追い込みを図っております。

県大会では、皆様に良い報告ができるように1戦1戦全力で戦っていきますので、今後とも皆様のご支援ならびにあたたかいご声援を宜しくお願い致します。

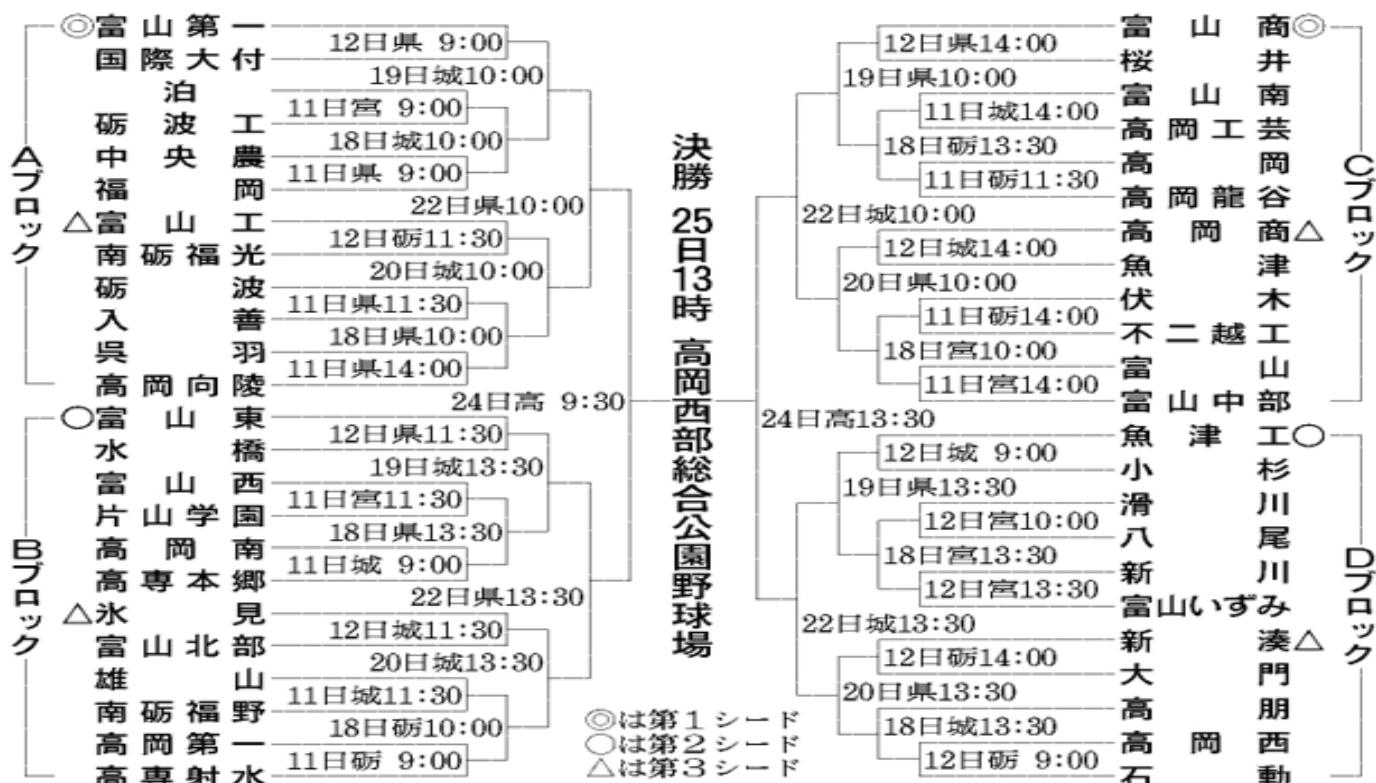
平成27年度 不二越工業高等学校野球部 部員総数 33名

部長	梅野 肇	一年生	10名
監督	鈴木 新伍	二年生	8名
コーチ	松本 芳宏	三年生	15名



2015.6月 本校グラウンドにて（1塁側ベンチ前より撮影）

第97回全国高等学校野球選手権富山大会 組合せ表（抽選日7/2）



高=高岡西部総合公園野球場 県=県営富山野球場
砺=砺波市野球場 城=高岡市営城光寺野球場
宮=黒部市宮野運動公園野球場

< キャプテンの今大会への思い >

今年のチームは、秋季大会・春季大会と自分達の思うような結果を残せず、大変悔しい思いをしてきました。夏の選手権大会で優勝し、富山県代表として甲子園に行くために、33名の部員がお互いに励まし合い、注意し合って厳しい練習を乗り越えてきました。

新チームのスタート時はまとまりも悪く、対外試合の結果も出ませんでした。しかし、選手間ミーティングを重ねる毎に理解し合い、チームとしてまとまっていきました。

自分達には、ずば抜けた「個」の能力を持つ選手がいるわけではありません。だから、「チーム力」を大事にして戦っています。

夏の選手権大会では、「チーム力」を最大限に発揮して、『一戦必勝』33名全員の力で勝ちにいきます。支えてくださった皆様への感謝を胸にこれまでの努力を全てぶつけていきたいと思います。

大会でのご声援をよろしくお願ひいたします。

野球部主将 木村 光唯

< トピックス >

バックネット～ベンチ前が
人工芝になりました



- ◎ 内野の黒土にひと際目を惹く鮮やかな緑色。夏の強い日差しを少しばかり癒してくれる、そんな環境になりました。選手たちも「グラウンドが引締まり、自分たちも気を引締めたい」と好評です。
(本来は、内野黒土の傾斜排水によるグラウンド外流出を防止するために施工したものです)

< 事務局より危機回避のための暫定措置についてお願ひ >

盛夏の候、皆様方におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校野球部に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年発行の会報に異例の「～ 事務局よりお詫びとお願ひ ～」という形で会長・副会長不在の状態、そしてそのために野球部やその他部活動への実質的な支援活動が停止していることを打ち明けさせていただきました。これまで、幾人もの方々に会長ならびに役員のお願いをいたしましたが、いずれも難しいようで未だ好いお返事をいただくことができていません。

そうしている中、先日昨年度の収支確認と振込用紙の印字依頼のために郵便局へ出向いたところ、同窓野球部後援会発足当時の平成6年度に定期として預金してある100万円が「20年と数ヶ月を越えると消滅します」と聞かされ驚きました。その場で一度普通預金へ移動させたいと話しますと、「後援会長様ご本人または会長から委託を受けた方（会長印の証明必要）でなければできません」とのことでした（また当時より通帳カードなどは作成されていないようです）。正直申しまして青ざめました。会長不在、しかも委託を受けることすらもできません。

なす術もなく西島校長や会計監査をお願いしている杉田様に相談し、「このままでは皆様よりお預かりしている大切な後援会費が無駄になってしまう為、苦肉の策として暫定的に会長・役員を選出させていただき、取り急ぎ通帳を作成して定期預金を移動させる」ことを早急に行なおうという結論に達しました。

皆様方には同意も得ず大変失礼なことではあります、時間が間に合いませんので学校内とその近い周囲にいらっしゃるOB会員の方々のお名前と印をいただき、すぐに移動確保いたしたいと思います。

(ちなみに7月1日現在ではまだ金額の確認はできておりました)

何卒皆様のご理解をいただきたいと思います。

平成26年度収支決算書

(平成26年6月～平成27年5月)

「27年度予算案」

収入の部

不二越工業高校同窓野球部後援会(円)

摘要	予 算	決 算	備 考	予 算(案)
1. 会費				
1) 法人会員	250,000	228,000		230,000
2) 一般会員	100,000	98,900		100,000
3) OB会員	60,000	35,000		40,000
2. 特別積立金繰入	0	0		0
3. 繰越金	1,506,610	1,506,610		1,716,835
4. 利息	150	177		165
合 計	1,916,760	1,868,687		2,087,000

支出の部

摘要	予 算	決 算	備 考	予 算(案)
1. 事務通信費	50,000	45,852	郵送料等	50,000
2. 会報発行費	150,000	100,000	会報印刷	100,000
3. 総会経費	50,000	0	実施せず	50,000
4. 事業費	600,000	0	会長不在で使用せず	600,000
5. 他クラブ補助費	100,000	0	(夏の大会応援含む予備)	100,000
6. 予備費	966,760	6,000	会費入金手数料合計(北銀、郵便)	1,187,000
合 計	1,916,760	151,852		2,087,000

差引き次年度繰越金	1,716,835
-----------	-----------

①特別定期預金 計	3,523,507	北陸銀行・郵便貯金
②野球部寮生貸付金	200,000	事務局預かり(寮生の支払い遅れを防ぐため)

会計監査 「実施要領と結果」

会計帳簿、領収書、貯金通帳の照合、点検並びに担当者に対して質問を行い、監査を実施しました。

その結果、すべてに間違いないことを確認し、ここに証明します。

平成27年7月7日

会計監査

杉田 恒雄



会員の皆様へ

毎年、一般会員、OB会員、法人会員、不二越関連法人の皆様には多大なご援助とたくさんのご寄付を頂き、本当に感謝申し上げます。

会員の皆様にも、経済状況等大変な年ですが、健康に留意され頑張ってください。

選手達も今年こそはと頑張っています

時間がございましたら、球場へ足をお運びいただき、応援よろしく御願いします

同窓野球部後援会 会長

事務局 高澤 裕司